

日銀支店長が語る

# 経済よもやま話

## 第14回 東北の桜で知った「早起きは三文の得」

日本銀行仙台支店長 岡山 和裕



### 東北の桜への願望

東北への赴任を聞いて、色々なことが楽しみだったが、その中でも大きな楽しみは、「東北の桜」を観ることだった。というのも、東京に長く住んでいたのだが、東京の桜が散って葉桜になった後に、満開になる東北の桜は、頻繁にニュースで流れていたからだ。さらには、昨年仙台に着任したのが、4月の最終週だったので、観ることができなかったからだ。着任の挨拶回りをした時に、何人かから「今年の東北の桜もきれいでしたよ」という話を聞いたので、さらに観たいという気持ちが盛り上がっていた。

そして、今年。私が桜の開花予想日のニュースを今年初めて見たのは2月下旬だった。ところが、である。今年、2月中旬まではかなり暖冬だったが、私が桜の開花予想のニュースを見た2月下旬から急に寒くなったのだ。しかも、その寒さは3月上旬も続き、気温が平年並みになったのは、3月中旬だったのだ。

そうすると、開花予想日がさらに気になった。このため、調べてみると、複数の気象予報会社が桜の開花日や満開日を公表しているほか、頻繁に改訂されていることも分かった。また、1県1カ所の予想だけでなく、1つの県でもかなり多くの桜名所の開花日を予想して公表している会社があることも分かった。

また、「2月1日からの最高気温の累積が600℃」や「2月1日からの平均気温の累積が400℃」に近づくと桜が開花するという経験則があることも知った。そうすると、自分が行きたい場所の最高気温や平均気温の累積を、定期的に手元で計算するようになった。

段々、開花予想日が近づいてくると、多くの桜の名所を観たいという気持ちが強くなってきた。そう、また悪い癖が出たのだ（笑）。

### 桜のシーズン入り

そして、待ちに待った桜のシーズンに入った。ちょうど、4月初旬の日銀支店長会議が終了した

日あたりから東北の桜が咲きそうになったので、会議が終了するや否や、家族がいる東京に留まらず、速やかに東北に帰着。

そして、4月の第1週は仙台市内、第2週は宮城県内、第3週は岩手県と秋田県の各所の桜を観て回った。その結果、観た場所は25カ所。

回ってみると、美しい桜に興奮するとともに、癒される。また、桜前線を身体で感じることもできた。というのも、第3週は、岩手県北上市から雫石町まで北上し、その次の日に秋田県仙北市から横手市まで南下したからだ。北上する時には、散りかけ→満開→7分咲き→5分咲きを観ることができたとし、南下する時はその逆を経験できた。

また、桜の名所と言われるところでも、観光客が少ない所もあり、そうした所では「桜のトンネル」の写真を撮ることができたとし、城跡が桜の名所となっていることが多いことが分かった。

そして、一番圧巻だったのは、宮城県大河原町と柴田町の「一目千本桜」。ネーミングも素敵だと思ったが、実際に観ると、「残雪の蔵王」と「満開の桜」が白石川の水面に映って、「逆さ蔵王」と「逆さ桜」になっているのだ。で、それを観たのは、朝早く。心癒される景色を写真に撮っていたら、おそらく地元の人が「こうした景色を観られるのは、朝だけなのよね」と話すのが聞こえた。

そうなのか、朝だけなのか！ 朝4時半に起きた甲斐があった！ 「早起きは三文の得」と言うが、三文（今の価値にすると90円くらい）の何倍もの価値を感じた！

皆さん、今年の東北の桜はいかがでしたか？

### 岡山 和裕氏 プロフィール

1969年（昭和44年）生まれ  
兵庫県出身。本店15部署のうち8部署を経験したオールラウンダー。東日本大震災では、金融機構局で被災金融機関との連携役を担ったほか、熊本地震では決済機構局業務継続企画課長として現場を指揮。前橋支店長、業務局参事役等を経て、仙台支店長に就任